富田林市SDGs未来都市計画
アクションプラン【2020▶2022】
（案）

SDGs未来都市推進プロジェクトチーム

2020年11月9日

（注）本資料に記載の2021年度以降の取組内容等については現時点の案となります

富田林市SDGs未来都市計画

1．計画策定の趣旨

内閣府からSDGs未来都市に選定された都市は、国とも連携しながら提案内容をさらに具体化し、
3年間の計画を策定することが求められていることから策定するもの。

2．計画期間

2020～2022年度の3ヵ年

3．計画の構成

①全体計画（自治体全体でのSDGsの取組）　**総合ビジョン　×　SDGs取組方針**

「SDGsを共通言語としたマルチパートナーシップによる"富田林版"いのち輝く未来社会のデザイン」

＋

②自治体SDGsモデル事業（特に注力する先導的取組）　**未来都市計画　×　SDGs推進本部**

「富田林発！「商助」によるいのち輝く未来社会のデザイン」

自治体SDGsモデル事業

経済

1．ウェルネストレイル事業
①ウェルネストレイル事業

2．SDGs金融
①SDGs金融

3．健康経営の普及促進
①健康経営普及促進事業　②健康経営プラットフォーム

4．ﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟ制度によるものづくり企業への支援
①ものづくり技術推進事業補助事業

社会

1．地域包括ケアの実現
①地域包括ケアの実現

2．健康エクササイズやロコモ予防事業
①健康エクササイズ・ロコモ予防事業

3．「スポーツ」「食」の多世代健康教育事業
①ドリームフェスティバル　②地域サッカー教室
③エコ・クッキング事業　④食育・食品ロス学習事業

4．校区担当職員制度
①校区担当職員制度

統合

1．いのち輝く“まちまるごと”健康プロジェクト
①「商助」による持続可能なエコシステム構築事業
②学生派遣による実学経験（PBL）事業
③健康・環境×SDGs普及啓発事業

2．公民連携デスク
①公民連携デスク

3．SDGsパートナーシップ制度
①SDGsパートナーシップ制度

環境

1．新たな地域公共交通の実践
①地域公共交通計画の策定　②地域公共交通の実施　③ウォーカブルタウンの構築

2．小水力発電事業の実施
①配水池設置型小水力発電事業

3．「とんだばやしプラスチックごみゼロ宣言」の取組
①「とんだばやしプラスチックごみゼロ宣言」の取組

4．家庭用燃料電池・太陽光発電システム設置補助による低炭素化の推進
①家庭用燃料電池設置補助事業　②太陽光発電システム設置補助事業

自治体SDGsモデル事業の整理①

分野	大事業	小事業	
統合	いのち輝く“まちまるごと”健康プロジェクト	「商助」による持続可能なエコシステム構築事業	統-1-1
		学生派遣による実学経験（PBL）事業	統-1-2
		健康・環境×SDGs普及啓発事業	統-1-3
	公民連携デスク	公民連携デスク	統-2-1
	SDGsパートナーシップ制度	SDGsパートナーシップ制度	統-3-1
経済	ウェルネストレイル事業	ウェルネストレイル事業	経-1-1
	SDGs金融	SDGs金融	経-2-1
	健康経営の普及促進	健康経営普及促進事業	経-3-1
		健康経営プラットフォーム	経-3-1に包含
	パートナーシップ制度によるものづくり企業への支援	ものづくり技術推進事業補助事業	経-4-1

自治体SDGsモデル事業の整理②

分野	大事業	小事業	
社会	地域包括ケアの実現	地域包括ケアの実現	統-1-1に包含
	健康エクササイズやロコモ予防事業	健康エクササイズ･ロコモ予防事業	統-1-2に包含
	「スポーツ」「食」の多世代健康教育事業	ドリームフェスティバル	社-3-1
		地域サッカー教室	社-3-2
		エコ･クッキング事業	社-3-3
		食育･食品ロス学習事業	社-3-4
	校区担当職員制度	校区担当職員制度	社-4-1
環境	新たな地域公共交通の実践	地域公共交通計画の策定	環-1-1
		地域公共交通の実施	環-1-2
		ウォーカブルタウンの構築	環-1-3
	小水力発電事業の実施	配水池設置型小水力発電事業	環-2-1
	「とんだばやしプラスチックごみゼロ宣言」の取組	「とんだばやしプラスチックごみゼロ宣言」の取組	環-3-1
	家庭用燃料電池設置補助･太陽光発電システム設置補助事業による低炭素化の推進	家庭用燃料電池設置補助事業	環-4-1
		太陽光発電システム設置補助事業	環-4-2

「商助」による持続可能なエコシステム構築事業

統-1-1

高齢介護課

事業概要

・市内の公共施設・民間施設（商店等）を健康拠点と位置付け、体組成計・活動量計リーダーを配置するともに、ウォーキングルートを設置する。
・市民（公募）を対象とした有償型ウォーキング事業を展開し、参加市民には活動量計を配布することで、活動成果の見える化を行う。
・参加市民は活動量計を持ってウォーキングを行っていただくとともに、定期的に活動量計リーダーでのデータ読み込みを行っていただくことで、健康拠点での消費行動を喚起する。
・健康拠点については、学生派遣による実学経験事業（統-1-2）のフィールドとしての展開を目指し、介護予防／健康増進に「商」の立場からビジネスモデルとして参入いただくことで、従来型の行政主導型から脱却し、持続可能で発展的な市民の健康づくりを推進する。
・事業実施によりエビデンスの測定を行い、介護費や医療費の削減効果について研究を行う。

KPI	マルチパートナーシップ
社会実験協力者数　1,000人（2022年度）	富田林医師会、アルケア㈱、地域事業所、参加市民

2020年度	2021年度	2022年度
【モデル地区においてウォーキング事業のテスト実施】 ・市内3地区（第1・2・3圏域）をモデル地区と設定し、体組成計・活動量計リーダー設置による拠点整備を行うとともに、40歳以上のウォーキングモニターを募集（300人＝100人×3地区）したうえで、2021年度に本実施する有償型ウォーキング事業のテストを実施（テスト時は無償でモニター参加）。 **【庁内CHO事業】** ・市職員の健康増進及びプレゼンティーズム抑制に向けたCHO（Chief Health Officer）事業として、活動量計を200人に配付し、コンペ形式による事業を展開。 **【全体マネジメント事業】** ・新しい生活様式を踏まえた事業の方向性及び具体的な企画検討を行うとともに、事業効果の検証を行う。	**【有償型ウォーキング事業の本実施】** ・前年度参加者の内、継続希望者は再度有償型（参加費検討中）で参加可能とする。 ・市域全体を対象とし、有償型（参加費検討中）で参加市民を公募（活動量計1,000台の範囲）する。 ・参加者は年間の活動量（ポイント）に応じて、記念品を入手できる仕組みとする。	**【有償型ウォーキング事業の継続】** ・前年度参加者の内、継続希望者は再度有償型（参加費検討中）で参加可能とする。 ・活動量計（全1,000台）の範囲で追加募集を行う。 ・参加者は年間の活動量（ポイント）に応じて、記念品を入手できる仕組みとする。
関連予算 ・全体マネジメント委託料　8,745千円 ・健康事業備品購入　18,529千円 （体組成計5機、活動量計リーダー30台、活動量計1000台など）	関連予算案 ・エビデンス研究費 （大学研究職謝金）	関連予算案 ・エビデンス研究費 （大学研究職謝金）

学生派遣による実学経験（PBL）事業

統-1-2
高齢介護課

事業概要

・大阪大谷大学のカリキュラムとして、富田林医師会監修による健康エクササイズやロコモ予防の指導方法を学んだ学生が、実学経験（PBL：Project Based Learning）として、新規ヘルスケアビジネスプラン作成・発表を行う。また、段階的に「商助」による持続可能なエコシステム構築事業（統-1-1）で設置した健康拠点において展開する有償型健康教室事業（2019年度にパイロット事業として「あすラクからだ教室@大阪大谷大学」を実施済）への講師派遣を行う。

KPI	マルチパートナーシップ
派遣学生数　50人（2022年度）	大阪大谷大学、富田林医師会、アルケア㈱

2020年度	2021年度	2022年度
【ヘルスケア事業経営研修】 ・国交付金事業としてヘルスケア産業における新規事業企画体験を実施する。 ・具体的には、①市の現状を知る、②ビジネスプラン作成のスキル・マインドセット、③ビジネスプラン作成、④ビジネスプラン発表。	**【社会研究実習カリキュラム実施】** ・医師会監修によるTOMAS手法を学ぶ講習を実施する。 ・地域拠点において、学生が講師となる健康エクササイズやロコモ予防教室を開催。	**【社会研究実習カリキュラム継続実施】** ・医師会監修によるTOMAS手法を学ぶ講習を実施する。 ・地域拠点において、学生が講師となる健康エクササイズやロコモ予防教室を開催。
関連予算 ・学生人材事業委託料　3,030千円	関連予算案 ・なし	関連予算案 ・なし

健康・環境×SDGs普及啓発事業

政策推進課

事業概要

・市民、事業者、公民連携企業を巻き込んだ、SDGsを学び、対話により課題解決に向けた実践的アイデアを、ローカルダイアログの手法で検討するアイデアソン事業を実施する。（※アイデアソン…アイデアとマラソンを掛け合わせた造語で、新しいアイデアを生み出すためのイベント）
・健康、環境テーマにしたシンポジウムを開催し、SDGsの概念や本市の取組、学生派遣による実学経験（PBL）事業（統-1-2）で大阪大谷大学学生が取り組んだ企画案、アイデアソン事業の成果発表等を行う。
・SDGs未来都市ロゴマークを作成するとともに、ロゴマークを活用した横断幕やのぼりの設置など、対外的な普及啓発を行う。

KPI	マルチパートナーシップ
延べ参加者数　200人（2020年度）	

2020年度	2021年度	2022年度
【SDGsアイデアソン】 ・公募市民、市内事業所、公民連携企業が参加するSDGsアイデアソン事業を実施する（オンライン／オフラインによるハイブリッド開催）。 **【SDGsシンポジウム】** ・すばるホールにおいてシンポジウムを開催（3/14予定）し、有識者による講演、SDGs未来都市についての啓発、2020年度事業の成果発表等を行う。 **【普及啓発】** ・SDGs未来都市ロゴマークを作成し、庁舎などへの横断幕やのぼり等の設置を行う。		
関連予算 ・普及啓発事業委託料　6,225千円 ・普及啓発消耗品費　941千円	関連予算案	関連予算案

公民連携デスク

統-2-1

都市魅力課

事業概要

・民間企業等との連携にかかるワンストップ窓口として、包括連携協定や個別事業協定などを積極的にコーディネートし、多様なステークホルダーとの対話を通じた課題解決スキームを構築する。

KPI	マルチパートナーシップ
民間企業との連携協定数　累計23社（2022年度）	

2020年度	2021年度	2022年度
【公民連携デスクの運用】 ・包括連携協定や個別事業連携協定などをコーディネートし、共創の基盤づくりを行う。	**【公民連携デスクの運用】** ・包括連携協定や個別事業連携協定などをコーディネートし、共創の基盤づくりを行う。	**【公民連携デスクの運用】** ・包括連携協定や個別事業連携協定などをコーディネートし、共創の基盤づくりを行う。
関連予算 ・協定締結関連消耗品費等　11千円	関連予算案 ・協定締結関連消耗品費等	関連予算案 ・協定締結関連消耗品費等

SDGsパートナーシップ制度

事業概要

・SDGsと地域に貢献する取組を実践している企業や団体をパートナーとして認証し、付加価値創出と活動を活性化する環境づくりを目指す。また、プラットフォームを形成することによりさらなるステークホルダー間の連携につなげる。
・一定の要件を満たしたパートナーについては事業認証（第二次認証）を行い、SDGs金融（経-2-1）を通じて資金面においても活動をサポートすることにより、取組を促進する。

KPI	マルチパートナーシップ
認証団体数（第一次認証）　累計60社（2022年度）	

2020年度	2021年度	2022年度
【簡易認証（第一次認証）の実施】 ・2020年度内に簡易認証（第一次認証）の受付・認証を実現するとともに、市ウェブサイト上においてパートナー同士がつながることが出来るプラットフォームを構築する。 ・健康・環境×SDGs普及啓発事業（統-1-3）で実施するシンポジウムにおいてパートナーの取組を啓発する。 **【事業認証（第二次認証）の検討】** ・2021年度からの導入に向け、金融機関等の関係機関も交えた事業企画を検討する。	**【簡易認証の運用】** ・簡易認証の受付・認証を継続。 **【事業認証の実施】** ・事業認証の受付・認証を実施。	**【簡易認証の運用】** ・簡易認証の受付・認証を継続。 **【事業認証の運用】** ・事業認証の受付・認証を実施。
関連予算 ・認証関連消耗品費等　11千円	関連予算案 ・認証関連消耗品費等	関連予算案 ・認証関連消耗品費等

ウェルネストレイル事業

経-1-1

商工観光課

事業概要

・市内に点在する地域観光資源を結ぶウォーキングトレイルを確立し、各種団体と連携・協力体制を構築したうえで、持続可能な取組として、観光客向けの有償型ウェルネストレイル事業を展開する。
・将来的には、市民に向けて実施するウェルネストレイル事業も「地域資源」と捉え、「健康」と「観光」を融合した考え方についても研究をしていく。

KPI	マルチパートナーシップ
ウェルネストレイルによる新たな消費額　1,200千円（2022年度）	アルケア㈱、富田林産業文化芸術連携体、あるこうかい富田林

2020年度	2021年度	2022年度
【トイレルルート作成企画】 ・関係機関とルート設定や企画内容など、トレイルルート企画を実施するための要素を確認し、ルート案の策定を行う。	**【トレイル事業の実証】** ・策定したルート案の実証を行い、ルートマップ案を策定する。 ・観光マップと連携し、トレイルリーダー養成に向けた企画の検討を行う。	**【トレイル事業の本格実施】** ・有償型トレイル事業を本格実施するとともに、トレイルリーダーの養成を行う。
関連予算 ・なし	関連予算案 ・観光マップ作成委託料	関連予算案 ・未定

SDGs金融

経-2-1

政策推進課

事業概要

・SDGsパートナーシップ制度（統-3-1）の事業認証（第二次認証）を受けた市内企業・団体等を対象に、認証のインセンティブとして、事業の継続・展開に向けた利子優遇や、私募債の活用による外部資金の流入を図る、SDGs金融（ESG投資またはSDGs私募債）の仕組みを、地域金融機関との公民連携により構築する。

KPI	マルチパートナーシップ
SDGs金融による支援件数　累計6件（2022年度）	地域金融機関（調整中）

2020年度	2021年度	2022年度
【SDGs金融企画】 ・富田林版のSDGs金融の仕組みについて、2021年度の運用開始をめざし、意欲のある地域金融機関とともに事業企画を行う。 ・企画が固まり次第、当該金融機関との間で連携協定を締結する。	**【SDGs金融の運用】** ・連携金融機関によるSDGs金融支援及び周知の実施。 ・連携金融機関拡大の検討	**【SDGs金融の運用】** ・連携金融機関によるSDGs金融支援実施。
関連予算 ・なし	関連予算案 ・周知チラシ印刷費	関連予算案 ・なし

健康経営普及啓発事業

経-3-1

商工観光課・健康づくり推進課

事業概要

・明治安田生命保険相互会社との連携協定により、事業者を対象とした経営セミナーの開催や、市内従業員や働く市民を対象とした働き方改革・女性活躍等のワークショップなどを実施し、経営者・従業員の双方から心身両面の健康化へアプローチを行う。

KPI	マルチパートナーシップ
セミナー等開催回数　2回（2022年度）	明治安田生命保険相互会社

2020年度	2021年度	2022年度
【健康経営普及啓発の企画】 ・市域における健康経営の普及啓発に向け、明治安田生命保険相互会社（連携協定締結事業者）と2021年度からの事業展開に向けた検討を行う。	**【健康経営普及啓発の実施】** ・明治安田生命保険相互会社のリソースを活用した健康経営セミナー等の実施。	**【健康経営普及啓発の実施】** ・明治安田生命保険相互会社のリソースを活用した健康経営セミナー等の実施。
関連予算 ・なし	関連予算案 ・なし	関連予算案 ・なし

ものづくり技術事業補助事業

経-4-1

商工観光課

事業概要

・本市ものづくり技術推進事業補助金において、2年目の補助対象要件にSDGsパートナーシップ制度（統-3-1）の第二次認証取得を追加し、SDGsに貢献する企業のチャレンジを支援する。

KPI	マルチパートナーシップ
補助金新規申請件数　4件（2022年度）	

2020年度	2021年度	2022年度
【ものづくり技術推進事業補助金の運用】 ・既存の補助制度を継続運用。	**【補助金の制度変更】** ・補助金の2年目の補助対象要件にSDGsパトナーシップ制度の事業認証取得を追加する。	**【新制度の運用】** ・新制度の継続運用。
関連予算 ・ものづくり技術推進補助金　4,500千円	関連予算案 ・ものづくり技術推進補助金	関連予算案 ・ものづくり技術推進補助金

ドリームフェスティバル

社-3-1
生涯学習課

事業概要

・プロ野球の公式戦を開催し、市民にプロスポーツを身近に感じてもらうとともに、プロ野球選手とのふれあいの場を提供する事で、子どもたちやその家族の夢を広げる機会を提供をする。

KPI	マルチパートナーシップ
来場者数　3,100人（2022年度）	オリックス・バファローズ、大阪大谷大学、太成学院大学　等

2020年度	2021年度	2022年度
【ドリームフェスティバルの開催】 ・オリックス・バファローズ２軍公式戦を開催。【コロナ禍により中止】	**【ドリームフェスティバルの開催】** ・オリックス・バファローズ２軍公式戦を開催。	**【ドリームフェスティバルの開催】** ・オリックス・バファローズ２軍公式戦を開催。
関連予算 ・実行委員会委託料　2,300千円	関連予算案 ・実行委員会委託料	関連予算案 ・実行委員会委託料

地域サッカー教室

社-3-2

生涯学習課

事業概要

・指定管理者の㈱ミズノの自主事業として、定期的に講座を開催しており、ＦＣ大阪の選手による地域小学生を対象としたサッカー教室を開催する。

KPI	マルチパートナーシップ
参加者数　60人（2022年度）	㈱ミズノ、ＦＣ大阪

2020年度	2021年度	2022年度
【地域サッカー教室の開催】 ・ＦＣ大阪選手による地域サッカー教室開催。	**【地域サッカー教室の開催】** ・ＦＣ大阪選手による地域サッカー教室開催。	**【地域サッカー教室の開催】** ・ＦＣ大阪選手による地域サッカー教室開催。
関連予算 ・なし（指定管理者自主事業）	関連予算案 ・なし（指定管理者自主事業）	関連予算案 ・なし（指定管理者自主事業）

エコ・クッキング事業

社-3-3

教育指導室

事業概要

・大阪ガス㈱との連携により、地球環境を考えながら、「買い物・調理・食事・片付け」等、食に関連する一連の行動について学ぶ、実践型プログラムを実施する。

KPI	マルチパートナーシップ
実施校数　4校（2022年度）	大阪ガス㈱

2020年度	2021年度	2022年度
【エコ・クッキング事業の実施】 ・大阪ガス㈱と連携し、新しい生活様式への対応としてオンラインを活用したエコ・クッキング事業を実施する。（伏山台小学校） ・これまでの各校における取組状況を把握し、2021年度以降のESDとしての計画的展開を検討。	**【エコ・クッキング事業の実施】** ・大阪ガス㈱と連携し、ESDの一環としてエコ・クッキング事業を市立小学校において計画的に実施する。	**【エコ・クッキング事業の実施】** ・大阪ガス㈱と連携し、ESDの一環としてエコ・クッキング事業を市立小学校において計画的に実施する。
関連予算 ・なし	関連予算案 ・なし	関連予算案 ・なし

食育・食品ロス学習事業

社-3-4
教育指導室

事業概要

・日本マクドナルドが「いのちを守ること」をテーマに「環境」「食育」等について、マクドナルドキャラクター「ドナルド」が授業を行う「ハロードナルド」のスキームを活用し、食育・食品ロスについて子どもが学ぶプログラムを実施する。

KPI	マルチパートナーシップ
実施園数　2園（2022年度）	㈱オゼキ（日本マクドナルドFC法人）

2020年度	2021年度	2022年度
【食育・食品ロス学習事業の企画】 ・市立幼稚園におけるESDの一環として、㈱オゼキと連携し2021年度からの事業実施に向けた検討を行う。	**【食育・食品ロス学習事業の実施】** ・㈱オゼキと連携し、ESDの一環として食育・食品ロス学習事業を市立幼稚園において計画的に実施する。	**【食育・食品ロス学習事業の実施】** ・㈱オゼキと連携し、ESDの一環として食育・食品ロス学習事業を市立幼稚園において計画的に実施する。
関連予算 ・なし	関連予算案 ・なし	関連予算案 ・なし

校区担当職員制度

社-4-1

増進型地域福祉・若者施策推進室

事業概要

・市内16小学校区で開催されている校区交流会議に市職員が校区担当職員として参加し、地域課題の共有や校区プログラムの企画・実践の支援、行政情報の提供、広聴活動を実施し、地域課題や広聴活動により受けた要望等の情報提供、校区プログラムの周知・広報等について庁内関係課等への働きかけを行う。
・各部局に推進担当員を配置し、部局内の課題の共有並びに解決に向けた検討及び連携調整等を行い、制度や分野、部局にとらわれない全庁的な取組として「増進型地域福祉」を推進する。

KPI	マルチパートナーシップ
校区プログラム実践数　12校区（2022年度）	富田林市社会福祉協議会

2020年度	2021年度	2022年度
【校区交流会議に担当職員参加】 ・校区交流会議に校区担当職員が参加し、地域と行政のパイプ役を担い、地域住民による主体的な地域づくりを支援する。 ・各部局の推進担当員が部局内の課題の共有並びに解決に向けた検討及び連携調整等を行う。	**【校区交流会議に担当職員参加】** ・校区交流会議に校区担当職員が参加し、地域と行政のパイプ役を担い、地域住民による主体的な地域づくりを支援する。 ・各部局の推進担当員が部局内の課題の共有並びに解決に向けた検討及び連携調整等を行う。	**【校区交流会議に担当職員参加】** ・校区交流会議に校区担当職員が参加し、地域と行政のパイプ役を担い、地域住民による主体的な地域づくりを支援する。 ・各部局の推進担当員が部局内の課題の共有並びに解決に向けた検討及び連携調整等を行う。
関連予算 ・報償費等　95千円	関連予算案 ・報償費等	関連予算案 ・報償費等

地域公共交通計画の策定

環-1-1

道路交通課

事業概要

・本市のめざす公共交通施策を展開するため、2019年度に近畿運輸局と「地域連携サポートプラン」協定を締結しており、2020年10月に近畿運輸局から「提案書」が交付された。
・「提案書」を基に、本市の地域公共交通のあり方、数値目標、財源等を精査し、地域公共交通計画を策定する。

KPI	マルチパートナーシップ
設定不可	近畿運輸局

2020年度	2021年度	2022年度
【地域連携サポートプランに基づく提案書の交付】 ・2019年度に締結した協定に基づき、近畿運輸局からの「提案書」交付手続きを行う。 ・「提案書」交付後は提案内容に基づき、関係事業者との協議を行いながら、施策推進のための検討を行う。	**【計画策定に向けた協議調整】** ・計画策定の骨子案についての検討を行うとともに、交通事業者等の関係機関との調整を行う。	**【地域公共交通計画の策定】** ・交通会議に諮りながら地域公共交通計画を策定する。
関連予算 ・委員報酬等　192千円	関連予算案 ・委員報酬等	関連予算案 ・委員報酬等 ・計画策定委託料

地域公共交通の実施

環-1-2

道路交通課

事業概要

・交通不便地域において地域が主体となって取り組む公共交通サービスを導入するとともに、路線バスとレインボーバスや送迎バス等が輻輳する区域における公共交通網の整備については、関係法令や国の施策等と整合を図りながら、関係する交通事業者等と調整を行う。
・利用者が減少している公共交通利用者を増やす取り組みとして、モビリティマネジメント施策も展開する。

KPI	マルチパートナーシップ
公共交通利用者数　2,494千人（2022年度）	近畿運輸局

2020年度

【交通不便地域における地域公共交通の実施】
・藤沢台七丁目地域において、乗り合いタクシーの試験運行を実施する。
・彼方上地区において、乗り合いタクシーの試験運行をめざした関係機関との協議を行う。

関連予算
・公共交通支援補助金　2,000千円
・ボランティア輸送補助金　64千円
・公共交通推進委託料　850千円
・バスMAP作成　116千円

2021年度

【交通不便地域における地域公共交通の実施】
・藤沢台七丁目地域において、乗り合いタクシーの試験運行を実施する。
・彼方上地区において、乗り合いタクシーの運行計画案を作成する。

関連予算案
・公共交通支援補助金
・ボランティア輸送補助金
・公共交通推進委託料
・バスMAP作成

2022年度

【交通不便地域における地域公共交通の実施】
・藤沢台七丁目地域において、乗り合いタクシーの本格運行を実施する。
・彼方上地区において、乗り合いタクシーの試験運行を実施する。

関連予算案
・公共交通支援補助金
・ボランティア輸送補助金
・公共交通推進委託料
・バスMAP作成

ウォーカブルタウンの構築

環-1-3

都市計画課

事業概要

・人口減少及び少子高齢化が進行する中、都市機能を集約し、その周辺に居住を誘導することにより、持続可能な都市づくりを進めること等を目的に立地適正化計画を策定し、コンパクトシティ、ウォーカブルタウンの構築に向けて取り組んでいく。

KPI	マルチパートナーシップ
設定不可	

2020年度	2021年度	2022年度
【立地適正化計画の策定準備】 ・立地適正化計画の策定に向けた庁内検討を行う。	**【立地適正化計画の策定】** ・現状及び課題分析を実施するとともに、将来の方向性や居住都市機能誘導区域設定の方針を検討する。	**【立地適正化計画の策定】** ・居住都市機能誘導区域設定を検討するとともに、誘導施策についても検討する。 ・目標値も設定のうえ、立地適正化計画を策定する。
関連予算 ・なし	関連予算案 ・計画策定委託料 ・委員報酬等	関連予算案 ・計画策定委託料 ・委員報酬等

配水池設置型小水力発電事業

環-2-1

上下水道総務課・水道工務課

事業概要

・㈱DK-Powerとの連携により、配水池設置型小水力発電を順次開始し、未利用エネルギーの有効活用を行うとともに、防災対策としての電力活用についても検討する。

KPI	マルチパートナーシップ
CO2削減量　686t（2022年度）	㈱DK-Power

2020年度	2021年度	2022年度
【小水力発電運用】 ・上原減圧水槽における小水力発電の継続運用。 **【金剛東配水池での小水力発電実装準備】** ・㈱DK-Powerと金剛東配水池における小水力発電に関する協定を締結し、小水力発電設備を設置する。	**【小水力発電運用】** ・上原減圧水槽における小水力発電の継続運用。 **【金剛東配水池での小水力発電実装】** ・金剛東配水池での小水力発電実施。	**【小水力発電運用】** ・上原減圧水槽及び金剛東配水池における小水力発電の継続運用。
関連予算 ・なし	関連予算案 ・なし	関連予算案 ・なし

「とんだばやしプラスチックごみゼロ宣言」の取組

環-3-1

環境衛生課

事業概要

・海洋プラスチック問題についての啓発をするとともに、エコバッグの推奨等、4R（リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ）のさらなる推進、プラスチックごみのポイ捨てなどの防止に向けた取組を行う。

KPI	マルチパートナーシップ
公民連携による啓発取組数　7件（2022年度）	富田林ライオンズクラブ、㈱サンプラザ

2020年度	2021年度	2022年度
【公民連携による啓発】 ・富田林ライオンズクラブ及び㈱サンプラザとの連携協定により、サンプラザ店舗でのエコバック配布を実施。 ・市においては広報誌やHPを通じて啓発を行う。	**【公民連携による啓発】** ・公民連携により啓発ポスターの掲示等に取り組む。 ・市においては広報誌やHPを通じて啓発を行う。	**【公民連携による啓発】** ・公民連携により啓発ポスターの掲示等に取り組む。 ・市においては広報誌やHPを通じて啓発を行う。
関連予算 ・なし	関連予算案 ・なし	関連予算案 ・なし

家庭用燃料電池設置補助事業

事業概要

・市域内において家庭用燃料電池を設置する者に対し、地球温暖化の防止を推進するため、その設置に要する経費の一部を補助する

KPI	マルチパートナーシップ
補助交付件数　141件（2022年度）	

2020年度	2021年度	2022年度
【家庭用燃料電池設置の補助】 ・設置経費の一部を補助する。	**【家庭用燃料電池設置の補助】** ・設置経費の一部を補助する。	**【家庭用燃料電池設置の補助】** ・設置経費の一部を補助する。
関連予算 ・設置費補助金　4,500千円	関連予算案 ・設置費補助金	関連予算案 ・設置費補助金

太陽光発電システム設置補助事業

環-4-2

環境衛生課

事業概要

・市域内において住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し、地球温暖化の防止を推進するため、その設置に要する経費の一部を補助する

KPI	マルチパートナーシップ
補助交付件数　120件（2022年度）	

2020年度	2021年度	2022年度
【太陽光発電システム設置の補助】 ・設置経費の一部を補助する。	**【太陽光発電システム設置の補助】** ・設置経費の一部を補助する。	**【太陽光発電システム設置の補助】** ・設置経費の一部を補助する。
関連予算 ・設置費補助金　2,400千円	関連予算案 ・設置費補助金	関連予算案 ・設置費補助金